

上沼の森植樹会に参加してきました

令和元年9月7日（土）、米代川源流自然の会主催による「上沼の森植樹会」が鹿角市花輪の柴内山国有林で行われ、会員、一般市民、官公庁、林業関係者らが参加しました。米代川源流自然の会では、市営牧場であった「上沼牧野」跡地を、かつての広葉樹の森に復元し、水資源のかん養や土砂崩壊防止に貢献したいと願って、平成17年から広葉樹を主体に植樹を進めています。



宮野会長は「鹿角の原風景を復元しながら、豊かな自然を後生に伝えていきたい」と挨拶するとともに、今年度、秋田県環境大賞の団体部門に選ばれたことを報告しました。

（広葉樹の苗を植樹）

この日は好転に恵まれ、参加者はブナ、ミズナラ、ナナカマド、オオヤマザクラなど広葉樹900本を丁寧に植樹していました。



こうした取組により、米代川源流の森林がうっそうとした天然林になって、野鳥や野生動物が住み着く森になることを願います。

（記念標柱の埋設）